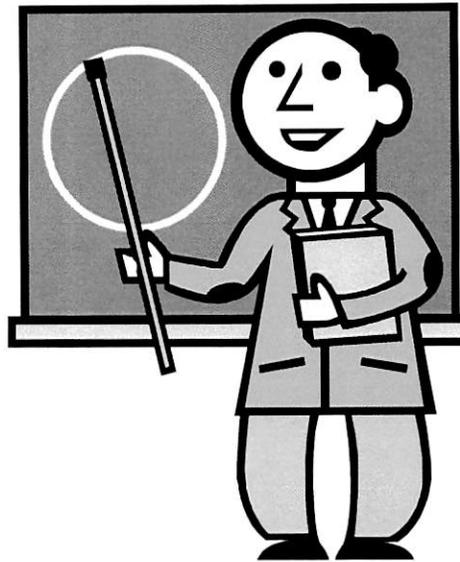


# 2011年度 経済学部ゼミ紹介



日時:2011年6月1日(水)

場所:甲友会館大ホール

時間:10:40~

ゼミ紹介の際はこの冊子をお持ち下さい。

# も く じ

藤本ゼミ	2
岩崎ゼミ	3
杉村ゼミ	4
青木ゼミ	5
稲田ゼミ	6
草野ゼミ	7
小林ゼミ	8
小山ゼミ	9
岡田ゼミ	10
高ゼミ	11
永廣ゼミ	12
奥田ゼミ	13
上島ゼミ	14
市野ゼミ	15
林ゼミ	16
森ゼミ	17
後藤ゼミ	18
中島ゼミ	19
阿萬ゼミ	20
石川ゼミ	21

本冊子掲載の各ゼミ紹介文、「甲南大学経済学部入門のしおり 2010」  
の一部を経済学会ホームページにて公開しております。  
こちらもゼミ選択に是非ご参照ください。 甲南大学経済学会

〔ゼミ紹介〕 藤本ゼミ

藤本建夫

私のゼミⅡでは日経新聞をテキストに1週間の日本および世界の経済的事件を追いながら、解説したり、ディスカッションしたりしています。

3月11日の東日本大震災が発生してからは、それが日本経済どのような影響を及ぼしているかを理解するためにそれに関する記事を読んでいます。

今年度のゼミのテーマは「大震災からの経済復興」で、阪神・淡路大震災と比較しながら東日本大震災を検証するというもので、地震という自然災害が突然襲ってきて、それが経済活動の波にぶつかったときどのような事態が発生するか、またそれが具体的に私たちの生活にどのような影響を与えるのか、そのような事柄を様々なニュースや文献をどうして考えていきたい。

岩崎ゼミ

主体的に考え  
主体的に行動し  
主体的に発言出来る  
学生を募集します!

存在するモノには根拠がある  
成功するには理由がある  
破綻するにも理由がある

ゼミ参観募集

毎週水曜日4限目5-507教室にて開講

さあ、学生のみなさん  
企業の盛衰を考える、企業戦略の経済分析を一緒に  
やろうではありませんか。  
そして、ゼミで学んだことを糧にあなたの未来を自  
身で切り拓いて行きましょう。

MAIL

[iwasaki@center.konan-u.ac.jp](mailto:iwasaki@center.konan-u.ac.jp)

ゼミ詳細については、個別でメールに  
て対応いたします。\*  
または直接「岩崎研究室9号館7階」  
までどうぞ。

\*近年定員に対する女性割合がとても小さいため、今期は女性の方を優先的に募集しています。女子生徒のみなさん、ふるって応募してください。

岩崎ゼミは絶対に  
皆さんを後悔させません!



Oshou Creative  
Design LABO

2018

ゼミ生募集

## 杉村ゼミナール

今回も「グローバル資本主義を考える」というテーマをとりあげます。グローバル化が進む世界で資本主義の経済活動が生み出しているホットな諸問題を取り上げ、みなさんといっしょに考えていきます。

ゼミでの学習は、グループワークが中心です。グループごとにそれぞれの具体的なテーマを決めて、調べ、考え、まとめ、プレゼンをし、全員で意見交換をしていきます。各グループのメンバーが、分担し、協力し、刺激しあって、共同作業を進めます。また、グループどうしで、競い合い高め合って、学習の成果をより大きなものにするよう努めています。

ゼミⅠではグループワーク入門、ゼミⅡでは前期はテーマの深化、後期はインナーゼミナールへの参加とその準備、ゼミⅢでは個人研究を中心に運営します。

ゼミでの学習を通じて、「大学生基礎力」、すなわち社会へ出て行く前に大学生としてぜひ獲得しておかねばならない様々な基礎的な力を鍛え、身につけてほしいと思います。杉村ゼミへの積極的な参加を期待します。厳しく、そして楽しく学んでいきましょう。

### ゼミ生からのメッセージ

杉村ゼミは、先生と学生、学生と学生の距離が近く温かいゼミです。杉村先生はとても優しく、学生のお話をよく聞いて下さいます。でもそれだけではなく、学生のために先生の考えやご意見も教えてくださる素敵な先生です。

また、グループ発表や個人発表のテーマは、先生の提案のほか、自分たちが興味を持っていること、もっと知りたいことを選ぶことができます。だから、調べたり、考えたりすることもあまり苦にはなりません。

ゼミのメンバーでのコンパなども開かれる、とても楽しいゼミです。友達と一緒になくても入ったら絶対みんなと仲良くなれるので、興味があったらぜひ入ってみてください

## 2011 年度青木ゼミの紹介

### ○教員から

今年もゼミ I の募集時期がやってきました。入学してから既に 1 年と数ヶ月が経過してしまいましたが、人生の新たな目標を探しあぐねている方も多いのではないのでしょうか？このままズルズルいくと、あっという間に大学生活が終わってしまいます。ゼミはそうならないための一つの機会です。

また、新しい友人関係を作る機会でもあります。ゼミでまずやるべきことは、始めて知り合った仲間とすぐに打ち解けて話ができるようになること。人見知りが多い、仲間創りのスキルが下手な学生さんが近頃多くなっているように思われますが、この「仲間創り力」、「コミュニケーション力」は社会に出て必ず必要となる力です。第二に、自分の規律付け。なまけても「まっ、いいか！」では社会で通用しません。そして第三に、常に自分を磨く向上心を持つことが重要です。この青木ゼミでは、この三つの事を 3 年間で培っていきます。

また、よりテクニカルですが、パソコンを空気のように感じるようになることも目指しています。具体的には、インターネット、エクセル、ワード、パワーポイントなどの基本ソフトの使い方から始まり、様々のデータを使って必要最小限の IT スキルをまず修得します。その後、調査・研究をグループ単位で行い、成果を人前で話してみましよう。このプロセスを繰り返すことによって、皆さんが社会へ旅立ち自立していける力の源を創ることがゼミの基本目的です。ワイワイ・ガヤガヤ仲間と話し合いながら、助け合い教えあいながら進めるゼミを目指しています。

### ○学生から

青木ゼミは、毎回パソコン室で行うゼミです。だから、IT スキルが修得できる!!プレゼン能力もつく!!これらは社会に出てからも必要とされるので、今のうちに身につけておくべきだと思います。パソコンが苦手だという人は、はじめはちょっと大変かもしれませんが、でも、先生がアドバイスをくれるので、ついていけなくなる心配はありません。少しでもスキルを身につけておきたいと思う人にはぴったりのゼミだと思います。

# 稲田ゼミナールとは？

教員から：

ゼミの特徴：データから日本経済や世界経済の動きを理解することを特徴としています。最近では関心の領域が関西経済に広がってきました。アジアの中の関西経済の理解や関西経済の成長戦略も守備範囲です。データを利用して、ダイナミックに変化する経済の動向を具体的な数字で理解、説明できるエコノミストの目を育てることを目的としています。

**具体的には：** 昨年例を紹介します。

- (1) 超短期データの整備と理解：日本経済や世界経済を理解するのに必要な月次指標(超短期データ)のデータバンクを作成。データの読み方をグループで勉強します。
- (2) トピクスになるデータを選択：今回は消費者や企業の心理を表すデータを追跡し、経済的な事件の影響を地域別にとらえました。
- (3) さらに全体的な理解を促進するため、関連する経済理論を勉強します。

**どのように：** 毎週のゼミ発表と週ごとのデータバンク維持が(ゼミ運営の)車の両輪。各グループは先週に発表されたデータを用いて、経済の Review を行い、週1回のプレゼンを行います。そして、それをめぐっての議論をします。

**望むこと：** 元気・やる気があり、ゼミをめったなことで休まない学生、これがわがゼミの第1希望です。

ゼミ生から：

マクロ経済学の講義の時の厳しいイメージとは違って稲田先生は実はすごくおもしろい先生です。僕は最初、どんな厳しい難題を押し付けられるのだろうと恐怖と期待を抱きながらゼミ室のドアをくぐりました。しかし、ゼミがはじまってみると、そこには講義中の鋭く尖った目ではなく、ノリノリの、まるで今からカブトムシを捕まえに行く前の少年のような目をした先生の姿がありました。今はこんな稲田先生とインゼミにむけて、株価の動向と商品価格の変動についての研究を進めています。これを読んで稲田先生って…、と思った方は自分の目で確かめに来て下さい。(稲田ゼミ卒業生より)

# 草野ゼミナールの紹介

## テーマ 経済史とその周辺

本年も経済史をできるだけ論理的な線に沿って理解することを試みたいと思います。輪読のテキストは下記の書物とします。

J. R. ヒックス／新保博、渡辺文夫訳『経済史の理論』（講談社学術文庫、1995年、940円）。私はこの本以上に深い意味がひそんでいる書物を知りません。J. R. ヒックスは、ノーベル経済学賞を受賞した理論経済学者ですが、なんと経済史についてもうんちくを傾けているのです。

しかしこの本は難解なので、本年度は実験的に、一般向けのやさしめの本として、最初に人口史の観点から最近のベストセラー藻谷浩介『デフレの正体—経済は「人口」の波で動く』角川新書、2010年、を輪読していこうと思います。

現在「経済史」の講義を受講している学生、歓迎します。ぜひとも活発な討論を期待したいと思います。

本年も楽しいゼミにしたいと思います。

## ゼミ生より一言

- ・気楽で落ち着いたゼミです。なごやかな雰囲気で行います。
- ・経済の歴史を把握することで、現代の経済をよりよく理解することができると思います。
- ・二人一組で報告し、べつの二人一組がコメントするというかたち（いずれも輪番）を中心に運営されます。
- ・内容は結構難解ですが発表がおわったのち、先生からくわしいコメントをしていただけます。
- ・内容はそんなにしんどくもなく、活気もあって楽しいと思う。
- ・ゼミ生一人一人が自覚をもち、積極的に発言していて、とても活気あふれるゼミです。
- ・ゼミでなにをするかはたいていゼミ生が話し合ってきめています。
- ・インゼミにも参加します。

## 小林 均 ゼミナール

### 《教員より》

本ゼミナールは1998年度1期生に始まり、国内研究のため2006、2007年度、ゼミ募集せず、2008年度から募集を再開しました。「政府活動の理論的・制度的分析」を基本テーマとし、さらに「21世紀日本における公・私の役割分担」を発展テーマとします。社会保障(年金・医療・税金)を経済学の立場から研究し、21世紀を作り上げ・維持する『学問』を目指すつもりです。社会保障の持続可能性と税制は、日本の現在・将来にとって解決すべき重要な課題です。21世紀の日本の経済社会は、高齢化、グローバル化という大きな潮流の中を、冷静に舵取りをし、生き続けなければなりません。この状況に対して、いかなる制度的・政策的対応が求められているかを考えることは大変重要であるとともにエキサイティングなことです。

大学一年生の時に読んだ経済学の入門書で、経済学を学ぶものにとって必要な姿勢は「Cool Head but Warm Heart」という、イギリスの経済学者マーシャルの言葉を知り、大変感銘した事を今でも忘れません。学生諸君がマーシャルの精神で、物事に対処する事ができるようになれば、本ゼミの目的はほぼ達成されたといつて良いでしょう。それには、与えられた課題、そして自己が見つけ出した課題について調べ、考え、そしてそれを人前で発表し、言いたいことを簡潔に伝えるという行為が不可欠です。大学生時代は自由であり、何でも吸収でき、しかし短い。この貴重な期間をいかに過ごすかが、その後の『豊かさ』を決めます。

### 《ゼミ幹事女子学生より》

小林ゼミでは社会保障制度(年金、医療、税金など)について教科書を使用して経済学の立場から自分で調べ、まとめ、発表します。

形式としてはおもに2人1組となってまとめてきたことを発表します。そして、もう1つの組が質問をするという形です。

先生からの質問もあり答えることもありますが、応用力も身につけ、成長できます。発表の順番が回って来ると少し大変ですが、自分で調べまとめることは自分自身を成長させるチャンスです。ゼミ内での飲み会などもあり楽しく仲の良いゼミです。

関心や興味をお持ちの方は是非授業風景を見に来て下さい！

# 小山ゼミのご紹介

## ゼミ生から

小山ゼミは主に「環境と経済」について研究・発表・討論するゼミです。「環境と経済」と聞くととっつきにくいイメージがあるかと思いますが、そんなに複雑な事はしません。むしろ、テーマはほぼ自由なので、自分が本当に興味のある物事について取り組む事が出来ます。

一見経済とは関係なさそうな事でも突き詰めていくと、必ず経済に関係しています。小山ゼミではいきなり経済学から入るのではなく、こういった自分が関心のある事柄から経済に馴染んでいけるのが特徴です。

もし経済学に興味がない、もしくはよく分からないという人は、まずこの小山ゼミで、興味のある事柄から経済の世界に足を踏み入れてみてはどうでしょうか？

きっとあなたが経済に対して抱いていたカタさやとっつきにくさがなくなると思います。

## 担当教員から

甲南大学経済学部の学生にとって、どこかのゼミに入ってテーマ研究をやるのが、一つのステイタスになっています。もちろん、就職活動のときに「自分は大学のゼミで、こうしたテーマで研究しています」とアピールできるようにしておくという意義もあります。

より重要なのは、自分が大学卒業後ずっと（無意識に）使っていくことになる物事に対する見方、判断の仕方、あるいは問題解決型思考法といったものを、ゼミの活動を通じて確立しておくことだと、私は考えます。

小山ゼミでは、ゼミ生一人ひとりが必要な情報を効率的に収集し、それらに基づいて論理的に思考・判断する能力・スキルを向上させることを目標として、さまざまな機会を設けています。

自らの能力・スキルをアップさせたいという強いモチベーションを有し、かつそれを維持し続ける自信を持った学生諸君が、小山ゼミに応募してくれることを期待しています。

## 📎📎 岡田ゼミ 📎📎

書を読み、街を歩き、神戸の歩みをじっくりと学ぼう。  
そうすれば、この都市の進むべき道がおのずと見えてくるはず。



2010年11月14日 フィールドワーク（風見鶏の館にて）

### 😊😊現役ゼミ生からのメッセージ😊😊

私達岡田ゼミは神戸の経済や歴史について研究するゼミです。

神戸は平清盛や坂本龍馬など歴史的に重要な人物と関わりがある街でもあります。

他に大輪田の泊・灘の酒・神戸港など例をあげるときりがありません。岡田ゼミではデスクワークだけでなく、フィールドワークなどを行い神戸の魅力を探求していきます。みなさんもゼミの仲間と共に神戸の良さを見つけてみませんか？

# 高ゼミナール

## 【高先生から】

ゼミは、教員が学生に一方通行で行う講義とは大きく異なる。教員と学生たちが自由な意見交換をし、ともに学ぶ場であり、ともに「楽しいゼミ」を作っていく場といえる。

高ゼミでは、アジアと日本の企業について勉強する。2年後期では、基本的な資料を学び、その後にゼミ生の希望を聞いていくつかのチームで課題を決め、調べていく。今年は、携帯電話産業における、ノキア、サムスン、パナソニック、ソニー、シャープなどの競争関係を調べている。

テストはない。インゼミには参加したい。4年の最後に卒論（卒業レポート）を書く。

好奇心旺盛で、アジアと日本企業に関心がある学生の参加を望みます。

## 【高ゼミの学生から】

2010年の高ゼミでは、韓国や日本の携帯電話に関わる企業について勉強しています。3つのチームに分かれて発表をした後に、先生がキーワードの説明などをしてくれるので、とても理解が深まります。

先生も気さくな方で、いつも和気あいあいと話ができる楽しいゼミです。ゼミ見学などに参加したらわかると思いますが、高ゼミに入ってきて後悔することはないと思います。

永廣から…

ゼミとは、単位取得のためにあるのではなく、ゼミ生同士、ゼミ生と教員が、学問はもちろん、学問以外についても自由に議論し共に「勉強する＝生き方を学ぶ」場であるといえる。

私のゼミでは、転換期にある日本財政の諸問題について、理論、歴史、制度、政策それぞれに目配りし、多角的、総合的に検討していく。ここ数年は、税制改革、社会保障制度改革、少子化対策を取り上げている。ゼミ生には、些細なことであっても、論点、疑問点等を積極的に提起し、自由に議論してもらいたい。また、こうしたゼミでの議論を通じて、自分自身の考えを論理的に整理する方法を身につけてもらいたい。

ゼミ生同士、ゼミ生と私が、何でも自由に話し合える雰囲気をつくるため、ゼミの運営方法については、ゼミ生からの意見も踏まえながら色々工夫したい。研究室への来訪は大歓迎であるのはもちろん、課外活動（ゼミコン、社会見学、合宿などのイベント…）も数多く実施したい。ゼミ生には、ゼミ室での勉強とともに、課外活動においても、大いに個性を発揮してもらいたい。

ゼミでは、知識はもちろんであるが、礼儀作法等の社会性も身につけてもらいたい。ゼミ活動を通じて、ゼミ生同士、ゼミ生と私との間に確固たる信頼関係を築き上げ、有意義で楽しいゼミにしていきたい。

ゼミ生から…

☆私たち永廣ゼミではゼミ生が自主的に活動しています。内容としては、財政や社会保障に関する本の輪読を中心に行っています。現在は、インゼミに向けて日々学習しています。永廣先生は優しい先生でゼミでは私たちの理解を深める手助けをしてくれます。また、ゼミの時間以外でも、ゼミコンなどが定期的に行われゼミメンバーで楽しく活動しています。社会見学もあり、学校だけではなく社会に触れることで学べることもたくさんあります。興味を持ったならばぜひ一度ゼミ見学等に来てください。

☆どうも2回生のみなさんこんにちは！

このゼミでは主に輪読をやります。基本的にゼミ生主体で進め、終わりに先生がコメントをするという形でやっています。輪読って堅くて難しいと思われるけど、やればなんとかなります。もちろん輪読だけではありません。ゼミの時間を利用して年に数回工場見学に行きます。今までにない貴重な体験ができます。またゼミの時間以外にもゼミコンなどの活動もやっています。ゼミの雰囲気はみんな和気藹々とした感じでやっています。めっちゃ楽しいゼミやと思うので2回生のみなさん是非永廣ゼミに来てくださいな。

☆永廣ゼミでは税制や社会保障などに関する本を使って、報告・質問・司会・コメントの班に分かれて運営し最後に先生から質問の答えの補足などをしてもらいとても理解が深まります。他にも年に4回社会見学が行われ、工場や会社に見学に行くことができ、とても楽しいです。またゼミコンも定期的に行われます。ゼミの雰囲気はとてもよく、勉強するときは真剣に取り組み、遊ぶときはワイワイ盛り上がるといったメリハリのあるとても充実した楽しいゼミです。

☆こんにちは☆永廣ゼミです。

普通のゼミでは、経済に関する本を読みます。その本について皆で話し合い、質疑応答を行って充実した議論をしています。

また永廣ゼミの最大の魅力といえば社会見学です!!その企画についても見学場所をゼミ生が中心となって決め、とても楽しい行事です。その他コンパ等では先生とはもちろん、先輩、来年度からは後輩と幅広く交流することができます!!

このように「楽しむ時は楽しむ・学ぶ時は学ぶ」とケジメのあるゼミであることが最大の特徴です。

主に財政(年金、税金など)を勉強しています。

この分野に興味のある方は、ぜひぜひ永廣ゼミへ!!

# 奥田ゼミナール

[担当者から] こんな時代だから古典を読もう



《文明社会では、人間はいつも多くの人たちの協力と援助を必要としているのに、全生涯をつうじてわずか数人の友情をもちえるのがやっとなのである。》(『国富論』第1編第2章)

わたくしにとって、大学時代のゼミナールは、まさにそうした貴重な「友情」の苗床でした。みなさんにとっても、そうであることを希望します。

ところで、アダム・スミスは上の文章に続けて言います。他人の善意はあてにできない。それよりも相手の利己心に働きかけるほうがよい。《われわれが自分の食事をとるのは、肉屋や酒屋やパン屋の博愛心によるのではなく、かれら自身の利害にたいするかれらの関心による。われわれが呼びかけるのは、かれらの博愛的な感情にたいしてではなく、かれらの自愛心にたいしてであり、われわれがかれらに語るのはわれわれ自身の必要についてではなく、かれらの利益についてである。》

経済学的人間観の宣言としてあまりにも有名な箇所ですが、しかし、わたくしには、《一身にして二生を経た》(『福翁自伝』)のような溜息が聞こえてくるような気がしてなりません。二つの引用文をゆっくりと読み比べてみてください。

「産業革命」と「市民革命」によって社会の成り立ちが大きく変わろうとしている時代のただなかで、新しい学問のありかたを求めたのがスミスです。『国富論(諸国民の富)』を手がかりにして、経済学の初心を探りたいと思います。

〔受講生から〕

2010年度後期「ゼミI」活動報告

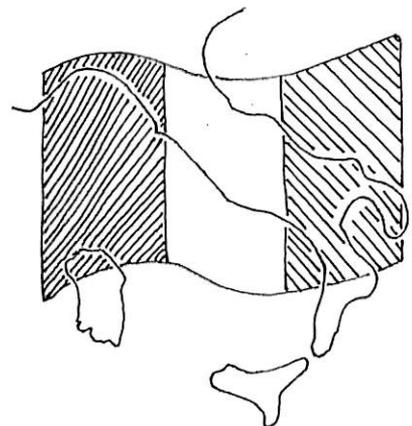
(受講人数) 3回生1人 2回生3人 計4人

(活動内容) 『国富論』音読・議論 (80%) + a (20%)

「奥田ゼミ」受講適性診断

- ・書物を愛している (はい/いいえ)
- ・感受性が豊かである (Yes/No)
- ・知的好奇心が旺盛である (Ja/Nein)
- ・社会科が全般的に好きである (Oui/Non)
- ・論理的・多面的に物事を把握できる (Si/No)

5つ全て当てはまる人は「奥田ゼミ」へ



## ゼミで伝えたいことー自立して生きる

平凡な人間でも生きていけば、さまざまなシーンで難問にぶつかる。どうすれば就職活動で「内定」がもらえるのか、今のカレシ（カノジョ）と結婚すべきか、なぜ営業成績が上がらないのか、転職になったが家族を連れて行くか、不登校の息子にどう向き合うか、どうすれば部下がやる気を出すのか、退職後の収入をどうするか、親の介護に疲れたがどうすればいいのかなど。人生に正答集はない。たとえ話せる友人がいても、結局のところ自分の頭で考えて進むべき道を決めなければならない。

難問を解くための手段は、「論理的思考力」ーすなわち、「こうだからこうなって、だからこうなる」というように筋道を立てて考える力である。情報を集めて理解し、順序立てて考えることは意外にむずかしい。けれども、この能力を使ってはじめて、職場や家庭、地域で出くわす問題に対して解決策を導くことが可能になる。こゝ一番において頼りになるのは、がまんと思考力である。

ゼミの目的の一つは、「論理的思考力」を身に付けることである。前半では、私のほうで用意した材料を使って、一人ひとりに下記のスキルを習得していただく。これら以外にも「リーダーシップ」や「コミュニケーション能力」（これって何？）を学ぶべきだろうが、そもそも弱い個人から強い組織は生まれない。「0」はいくつ足しても0である。

- ① 書く力…話の流れの見えない文章はだれも読んでくれない。簡潔・明快な文章を書くためのチェック項目を整理する（20個ある！）。何も意識せずに何度レポートを書いても、紙と時間のムダである。
- ② 聴く力…話の流れとキーワードをメモする。それをもう一度ノートに整理して、本質的なポイントは何かと考える。
- ③ 読む力…本を読まない人は複雑な思考ができない。書き言葉になじんで、論理のくさりを追う力を養おう。具体的には、指定された本を読んで章ごとに大意をまとめ、最終的には本全体のあらすじを書く。合わせて、読書の面白さを伝えたい。
- ④ 話す力…プレゼンテーションで大切なものはサービス精神である。では、それをどう発揮すればいいのか。5つのチェック項目を心がけて練習を繰り返す。
- ⑤ 調べる力…「血液型から性格が分かる」などという実証的な根拠のない説を鵠呑みにしてはいけない。自分の考えが正しいかどうかを、仮説を立てて統計に当たって確かめる。実証的に支持されれば、数字を使って自分の意見を主張する。支持されなければ、いさぎよくストーリーを考え直そう。

5つの力について、学んでほしいテクニックを明確にして指導する。限られた注意点に気を配ることによって、論理的に考える力が鍛えられる。それらをマスターした後で、自分なりの流儀を確立すればいい。日々の学習において、何も意識せず漫然と課題をこなしても進歩はおぼつかない。大学生になっても「きちんとした文章が書けない」、「理路整然と話せない」ことを内心、恥ずかしいと感じる人には有益だと思う。

ゼミの後半では、インゼミ大会での発表を準備するなかで研究のしかたを学ぶ。と同時に、「0」から「1」に育った個人がグループになり、「1」+「1」を3に変えるためには何が大事なのかを探る。人に言われたことだけをやっても、チームの一員にはなれない。グループ作業のなかで自分はどうふるまうべきか、真つ当な判断は何か、どうすれば全員のモチベーションが上がるのか、グループから「チーム」に変わる条件についても一緒に感じて考えよう。

（文：上島）



# 市野ゼミ

『みしらぬことばでみたことのある場所を

歩いてもつまらない。だれもがしていることばで

だれもしらないところを歩きたい。』

僕の好きな詩人、長谷部奈津江の言葉です。

市野ゼミでしたいのは、まさにこれです。

私たちの身の回りに、私たちのなかに、

「だれもしらないところ」はたくさんあります。

ていねいに考える。どんなことも当たり前と思わない。

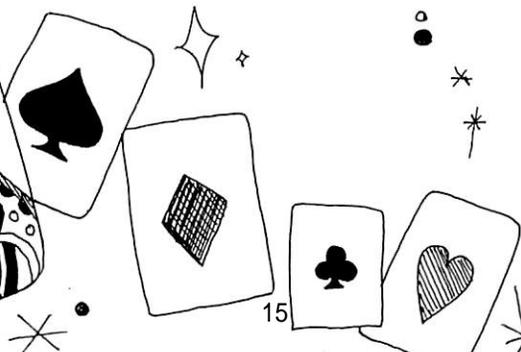
あり得ないと言わない。

そうすれば私たちは、「だれもがしていることば」

だけで、ずいぶん遠くまで行けます。

みなさんと一緒に「だれもしらないところ」を

歩くことを、僕は楽しみにしています。



## 林ゼミナール特徴

- 新歓コンパ、卒業コンパあります。
- 新年会 (or 忘年会) あります。
- その他飲み会は、幹事さん次第。
- ゼミ合宿やります (4 年次を予定)。
- 機会があれば会社見学します。
- サッカー観戦などは企画次第。
- よく卒業生がゼミに来ます。
- 卒業生とは SNS で繋がってます。
- 詳細は 6/8、15 のゼミ相談会で。

ゼミ問い合わせ先：

[khayashi@center.konan-u.ac.jp](mailto:khayashi@center.konan-u.ac.jp)

### <担当者 (林) より>

林ゼミナール紹介のページへようこそ♪

このたび林ゼミでは、第9期生 20 名を募集しております。

ゼミのテーマは、「デジタル社会をどう生きるか」、サブテーマは「卒業後の人生について考えよう」です。

デジタルなことに興味を持ちつつ、縦 (上級生 / 卒業生 / 指導教員) と横 (同級生) のつながりというアナログな部分を大切に思う方は、この機会にぜひ、入ゼミをご検討下さい。

基本的に「新しい物好き」な人、「海外好き」な人、「ゲーム・サッカー好き」な人、そして「お酒は飲めないけど飲み会好き」な人、このあたりは、私とフィーリングが合う可能性大です。

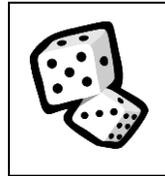
充実した大学生活を送るために、一緒にゼミを盛り上げていきましょう！



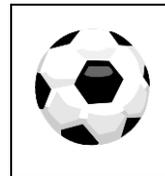
Violin



USA



Casino



Vissel KOBE

木木木 げん



木木ボーイ！木木ガール！  
募集だよー

## 後藤ゼミナール紹介

担当;後藤励 研究室;9号館711  
E-mail:reigoto@center.konan-u.ac.jp

こんにちは。みなさんとは「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」「日本経済入門」「入門ミクロ経済学」でお会いしたかもしれません。そのときお話ししたこととはいくぶん違い、私の専門分野、ゼミの主なテーマは、「健康経済学」です。今年度は6期生の募集となります。

若い皆さんのほとんどは、今まで大きな病気もしたことなく、健康に過ごしてきたでしょう。逆に「健康に悪いなあ」と思うことをわざわざお金を払ってやっている人も多いのではないのでしょうか。

もう少し年をとると、病気ではないけど、健康でありたいという気持ちが強くなります。健康食品を買ったり、スポーツクラブに入ったり、サプリメント飲んだりいろいろなことをするでしょう。

さらに年をとると、実際、病気になる人も増えてきます。病院に行って医療のお世話になり、もっと年をとると介護サービスを受けるかもしれません。

どんな人でも、一生の間何らかの形で、健康を保ったり害したりするためにいろいろなお金を使っています。日本全体、世界全体では結構多額になると思いませんか？

本ゼミでは健康を保つもの、害するものに関する産業、政策について経済学的に分析する基礎を学びます。

### 運営上の注意

- ゼミには主体的な参加が求められます。1週間に一度ゼミ室に来て、他の人の話を聞いて帰る、というようなことはありません。
- ゼミの外での研究発表の機会も考えています。ゼミⅠでは、複数のゼミでのディベートなどを企画しています。
- 単なる一コマ(4年次までで8単位)の授業ではなく、みなさんの学生生活のいろいろな面に関わるようなゼミにしたいと思っています。
- 6月8・15日(水)4時限目 5506教室でゼミ見学を受け付けています。

# 中島ゼミナール 2011 年度広告文

この道をいけばどうなるものか、

危ぶむなかれ。

危ぶめば道はなし。

踏み出せばその一足が道となる。

**迷わず行けよ。行けばわかるさ。**

by アントニオ猪木

★ 2012 年度後期semester（3 回生の後期semester）より外留に行きます。基本的には、3 回生前期semesterまでの指導になるかと思えます。よく注意してください。

★ いちおう、金融のことを中心に勉強するゼミです。

## 2011年度 阿萬ゼミの紹介

このゼミでは、主に企業活動や金融市場に焦点を当てて、幅広く経済について基礎的な知識を学びます。ゼミ進行の方法は、まず、企業分析や金融分析に関するテキストをグループで勉強し、それを自分たち独自にいろいろな企業に応用した結果を報告します。参加者で分からないところや疑問点などを質疑します。定量的な手法によって、EXCELを使ってデータ分析することや、Power Pointでのプレゼン資料作成・報告に興味ある学生に向いているでしょう。

金融論・証券論の分野では、投資収益やリスクの考え方を学ぶのはもちろんですが、金融市場を通して、さまざまな経済活動、とくに企業や産業の状況について学ぶ機会となります。たとえば、経営指標や株価指標などを使った仮想的な投資先の選択(スクリーニング)では、興味のある会社について調べます。そのとき、単なる数値や指標だけでなく、その企業の商品の魅力や取り巻く業界についても目を向けます。できるだけ幅広い視点で企業や金融市場について学びましょう。

甲南大学経済学部では、インゼミ大会が毎年活発に開催されていますので、ゼミⅠでの基礎知識の学習を生かして、ゼミⅡでは大会発表を目標に活動を進めたいと考えています。ゼミⅢでは卒業論文を執筆します。また、現時点では予定段階ですが、証券投資ゲームやヴァーチャル投資サイトの活用、学内外の他のゼミナールとのディベート戦なども行いたいと考えています。

真面目にゼミに取り組める受講生、グループワークに積極的に取り組める受講生を歓迎します。ぜひゼミ生同士で楽しく学べる雰囲気を作り上げてってください。もし受講希望者が多数の場合は、成績・申請書類内容・面接の結果を参考基準とします。

せっかくの機会ですから、このゼミに限らず、いろいろな分野のゼミの先輩、教員から話を聞いて応募を決めましょう。ゼミ相談会を活用して実際のゼミ生の話を聞く、直接研究室を訪問して教員に質問してみることが一番効果的でしょう。

## 2011年度 第2期 石川ゼミの紹介

私の研究のキーワードは **都市 地域** です。

ゼミでは、学外での **フィールドワーク** や役所等での **ヒアリング調査** などを通じて、都市や地域の抱える様々な問題を明らかにし、その問題に対して有効かつ効果的な政策提言を行っていきたいと考えています。

この大きなテーマに沿って、ゼミでは、

- ① 論理的な考え方を学ぶ
- ② 文章力を高める
- ③ プレゼンテーション力を高める
- ④ コミュニケーション力を高める
- ⑤ ディベート力を高める

ことを目標として進めていきます。

ゼミでは、学生同士での議論(ディベート)の場を提供するなど、相手の意見を理解する力、自分の意見を伝える力を身につけられるような機会を積極的につくりたいと思っています。また、ゼミでは **グループワーク** が中心となります。ゼミ生同士でコミュニケーションを深め、困ったときにはお互い助け合えるような信頼関係を築いてもらいたいと思っています。なお、授業の時間外にゼミの作業をしなければならない時たくさんあります。そういう意味でも積極的にゼミ活動に参加する学生さんを応募します。

第1期のゼミ生さんは、元気な学生さんばかりです。

第2期のゼミでも、元気でやる気のある学生さんが集まり、ぜひ積極的に楽しいゼミを作ってもらえれば嬉しいです☆